

碩田中学校区新設校

開校準備委員会NEWS



第三回開校準備委員会を開催しました



十一月十七日（火）の午後七時から、大分市教育センター・二〇二研修室において、第三回開校準備委員会を開催しました。

会議では、まず第三回開校準備委員会までの経過について、事務局から報告がありました。

次に、各専門部会長から、第三回開校準備委員会までに検討した事項について報告がありました。

その中で、学校部会長の安東委員からは、主に、校名案募集の結果や制服に関するアンケート結果についての説明がありました。校名については、応募のあった中で圧倒的多数であった「碩田」の二文字は新設校の名称に必ず使用することを前提に、全国的に認知度や知名度が高まるよう、かつ、未来志向的な思いを共有できるような言葉を加えることも考慮しながら、再度、学校部会においても検討することが了承されました。

次に、学校支援部会長の山岡委員

からは、通学路の安全確保の取組とPTA組織に関する協議の進捗状況などについて説明がありました。

次に、施設部会長の岩本委員からは、施設開放を行う場所や開放する対象者の範囲、利用方法等に関する考え方について協議を進めていることのほか、備品（家具）の選定に関しては、今後具体的なサンプルを提示するよう求めていくことなどが報告されました。

（各専門部会からの報告は、一・三面に記載しています。）

最後に、アドバイザーから、校名案や施設開放について助言をいただき、閉会となりました。

（内容は、四面に記載しています。）

第4回開校準備委員会は
平成28年2月16日（火）
大分市教育センター
302 研修室にて開催します
19:00～20:30

開校準備委員会の会議は
傍聴できます



学校部会より報告

校名案について

～たくさんのご応募ありがとうございました～

- 応募された校名案・・・268案



このうち学校部会において以下の3案に絞りました。



校名案	理由（思い・願いなど）
① 碩田 (7割程度)	・「碩田」は「大分」の古名であり、古くは景行天皇が名付けたという「碩田（おおきた）国」に由来する。・「碩」には、「優れている」、「充実している」という意味があり、学校名に使う漢字としてふさわしい。・これまでの歴史や伝統を残す意味で「碩田」という学校名を残したい。・碩田地区にあり、慣れ親しんだ名前「碩田」をぜひ残してほしい。・地元に着した名前であり、歴史的にも価値のある名前である。
② 大分中央	・伝統ある3小学校と中学校が一つになることで大分の中心となる。・大分県を代表する伝統ある学校になってほしい。・広大な大分の中心である。
② 府内碩心	・府内＝大分の歴史。その上に新しく築かれる学校であること。また、「碩」には、「優れている」、「広い、大きい」、「立派な」という意味があり、それに、「心」を組み合わせることにより、「英知」と「広く優しい心」を持ち、世界にはばたく子どもたちを育てたい。小中一貫教育校となるため「学園」という言葉を使いたい。



- 開校準備委員会において協議した結果、①の「碩田」については、7割程度の応募があった為、新設校の名称の中に必ず使用することを前提に、全国的に認知度や知名度が高まるよう、かつ、未来志向的な思いを共有できるよう、「碩田」の2文字に言葉を加えることも考慮しながら、再度、学校部会においても検討することを確認しました。

制服について

- 保護者を対象にした「碩田中学校区新設校の制服についてのアンケート」結果

1. 新設校に制服を導入するか、しないか。

	する(人)	しない(人)	その他(人)
荷揚町小学校	76	30	3
中島小学校	151	63	3
住吉小学校	86	21	0
碩田中学校	82	13	0
合計	395	127	6
(%)	(75)	(24)	(1)

2. どの期から導入するか。

	前期(人)	中期(人)	その他(人)
荷揚町小学校	35	48	2
中島小学校	57	83	13
住吉小学校	36	59	0
碩田中学校	37	50	4
合計	165	240	19
(%)	(39)	(57)	(4)

3. 導入する場合、現在の碩田中学校の制服のデザインを引き続き採用するか、新しいデザインを採用するか。

	碩田中デザイン(人)	新しいデザイン(人)	その他(人)
荷揚町小学校	20	68	10
中島小学校	30	122	1
住吉小学校	27	73	0
碩田中学校	36	52	5
合計	113	315	16
(%)	(25)	(71)	(4)



- 今後、学校部会において、アンケート結果と12月のPTAでの保護者の皆様のご意見、ご要望などを踏まえ、引き続き検討を行う予定です。

学校支援部会より報告

通学路について

- 10月19日に合同現地地点検を行いました。

各校区からいただいた通学路に関する要望事項について、県・市の関係機関、警察（中央署）の調査に、学校、保護者、自治会（地域住民）も参加していただき、現地地点検を行いました。

今後の取り組み

- ・ 合同現地地点検における各機関からの回答を受け、学校支援部会で協議し、安全面等の再確認をする。
- ・ 必要があれば通学路（案）の見直しを行う。
- ・ 学校、保護者、地域住民による見守り体制について協議する。

PTA組織について

- ① 小学校と中学校を分けずに一本化して組織する。
- ② 碩田中学校PTAの組織を基本として、専門部の編成等検討していく。
- ③ PTA会長を中心に4校PTA合同で素案の作成を行い、学校支援部会で検討する。

今後の検討事項

- ・ 組織（役員等）の素案作成
- ・ 開校時の役員の選考方法とその時期
- ・ PTA規約について
- ・ 会計（運営予算）等について



施設部会より報告

施設開放について

- 新設校における施設開放を行う場所（案）として、「体育館」、「武道場」、「図書室」、「グラウンド」、「プール」を選定しました。
- 体育施設の利用方法については、現行と同様に、各学校で実施している社会体育団体調整会議にて行っていくことでご了承いただきましたが、今後も意見聴取を行う予定としています。
- 「地域連携室」の利用に関する基本的な方向性については、施設部会に持ち帰って検討することとなりました。

備品（家具）について

- 「アトリウム」、「ランチルーム」、「オープンスペース」の各部屋について、より有効な活用事例の紹介を行いました。
- 委員からは、交流スペースは、「児童生徒の日常的な交流や集会」や「多様な学習活動」が可能となるような、機能的な備品配置が望ましいとの意見が出されました。また、実際に備品を「見たい・触れたい」との意見があったことから、配置予定の備品を取り寄せ、体験してもらうように計画しておりますが、今後も意見聴取を行う予定としています。

アドバイザーより



【西村アドバイザー】



- ・校名についてこれだけ多くの案が出ていること自体も非常に素晴らしいと思う。7割が「碩田」の名前にということなので、多数決以外の方法で決めるとなると難しい。ただ少なくとも、校名を決めるときにこういう議論があったということ自体素晴らしいことなので、今後、新設校が出来た後の子どもたちにもこの経緯を伝えてあげたい。
- ・学校を創るときに他都市・他地域での協議の様子を見ると、結局ルールが先に出来る。そうするとルールに縛られて自由度がなくなっていくような地域が見られた。今の大分はまだルールがないので、他の地域にはない独創的な素晴らしい空間が出来るような予感もするので、どんどん積極的にアイデアを出していただいて、進めていただけると嬉しい。

建設工事の状況について

◎ 平成 29 年 4 月の開校に向け、工事は順調に進められていることが報告されました。



〈編集後記〉

開校準備委員会の様子を広くお知らせするため、開校準備委員会NEWSを発刊するとともに、市のホームページにおいても会議の要旨などを公開しています。

積極的な情報発信に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

碩田中学校区新設校
開校準備委員会NEWS「第3号」

発行：平成27年12月
事務局：大分市教育委員会教育企画課
連絡先：大分市荷揚町2-3-1
097-537-5903（直通）
kyoikukikaku@city.oita.oita.jp